

推奨薬・オプション薬処方実績に関するコメント（2月分）

① 庄原赤十字病院

- ・ 特にデータ変化はありません

② 西城市民病院

- ・ アジルバの後発売に伴い、アジルサルタンの処方数が大幅に伸びています。また、全体的に推奨薬の処方数が増加傾向にあります。

③ 市立三次中央病院

- ・ ARBに関しては、引き続きオプション薬であるカンデサルタン錠 8 mgの使用量は減少していましたが、推奨薬である3剤に関して大きな増減はありませんでした。
- ・ PPIに関しては、タケキャブ錠 10 mg及び 20mgとも減少傾向にありました。その分エソメプラゾールカプセル 20 mgが微増していました。
- ・ スタチンに関しては、推奨薬とオプション薬の両方において大きな変化は認められませんでした。
- ・ 追加の3種類に関しては、データ不足のため比較するには難しいですが、全般的に1月分より2月分の方が少ない結果でした。

④ 三次地区医療センター

- ・ ARB、スタチンは推奨薬の処方量・使用率とも増加していました。循環器患者が多かったのかもしれませんが。
- ・ ARBは使用率、スタチンは処方数が今までで一番高かったです。
- ・ PPIは1月より処方量はやや増加しましたが、使用率は横ばいです。
- ・ α -GIはミグリトールが減少しましたが、患者の退院が続いたためと思われます。
- ・ 抗ヒスタミンは推奨薬は全て減少、オプション薬が増加（利便性から職員に選択されることが多く、花粉シーズンも早まったため、急に増加したように思います）。
- ・ 鎮痛剤はロキソプロフェン、セレコキシブの処方が増加していました。（原因は不明です）